

世

真寶閣

文

總目錄

今川習越 合度 辨度 筭度 大同 大同 大同

狀狀狀狀狀狀狀狀

伯英... 祖... 書法... 同... 偏... 小... 大... 十... 名... 古... 古錢目錄之大槩



○世の人一字一筆の
 らうゆの中文字の
 のひかして書ゆ下
 的かゝるてんか
 伊とてなう移あし
 ちかた上下の
 多く拾ぬまう
 ○月日とちかた月
 たうく日の字を
 少く書法とまう
 けりらひまう
 ④ 田うまう小園と
 むくく書となく
 その内とて候し
 ○いろははわりの
 侍候といふあはれ

書法貴族別
 ○住部 東白
 一筆奉書上夜
 一筆格上仕作
 一筆管上仕作
 一筆管上仕作
 一筆管上仕作
 一筆管上仕作
 一筆管上仕作

一 不和身名流成心不
 一 生心名流
 一 不使入理成心
 一 暮控感の
 一 頓悟成心
 一 相沙流の

一 非道不心
 一 流心名流
 一 長酒名流
 一 忘家職の
 一 迷色行相就名流
 一 知他人の

古状

人 心 心 宮
 門 門 門 門 門
 頁 頁 頁 頁 頁
 九九のりど
 三四三六四八五十
 二六二七五六六九六
 三三九五五五五五六
 七九二六益元益四六
 豐千興益吧共四益
 兜美妻益美千再妻
 夷早弄置六共容里
 六早八元番君男又美
 見空八益死至死上

文字四百餘字
 小部集歌字盡
 歌教七十八首

木椿榎欒枝
 柏拍松欒枝
 柘榴桃李杏
 七
 七

重組の運分撰於人先
 先為得也之履。一國
 也元人先教法直能
 武士之象煥々然
 好人之為由成事
 富貴榮華集集則
 不
 不
 不
 不

難招法人使主事
 不和心正主同成
 之出律地各君且
 之道者食食良洋
 飲進推由投益有
 心境能公公以良
 七
 七

右狀

七

柳指柳指花

柳枝柳柳柳

柳枝柳柳柳

柳枝柳柳柳

柳枝柳柳柳

柳枝柳柳柳

柳枝柳柳柳

柳枝柳柳柳

梅梅梅梅梅

梅梅梅梅梅

梅梅梅梅梅

梅梅梅梅梅

梅梅梅梅梅

梅梅梅梅梅

梅梅梅梅梅

梅梅梅梅梅

直金車... 柳指柳指花

直金車... 柳枝柳柳柳

直金車... 柳枝柳柳柳

直金車... 柳枝柳柳柳

直金車... 柳枝柳柳柳

直金車... 柳枝柳柳柳

唯佛为救... 柳枝柳柳柳

唯佛为救... 柳枝柳柳柳

唯佛为救... 柳枝柳柳柳

唯佛为救... 柳枝柳柳柳

唯佛为救... 柳枝柳柳柳

唯佛为救... 柳枝柳柳柳

古状

扱吸汲汲汲

水

酌碑破酒配

位倍信位社

体伏伸任件

維推推推推

際際際際際

末末末末末

宗宮宮宮宮

宗宮宮宮宮

宗宮宮宮宮

宗宮宮宮宮

宗宮宮宮宮

宗宮宮宮宮

宗宮宮宮宮

要也言也働推以用也馬

道也言也働推以用也馬

定の本領也推以用也馬

規程行各推以用也馬

全指也推以用也馬

合教道也推以用也馬

其也言也働推以用也馬

次第也言也働推以用也馬

永也言也働推以用也馬

初也言也働推以用也馬

在也言也働推以用也馬

故也言也働推以用也馬

瘧疾症瘧疾

瘧疾症瘧疾

瘧疾症瘧疾

瘧疾症瘧疾

瘧疾症瘧疾

瘧疾症瘧疾

瘧疾症瘧疾

瘧疾症瘧疾

苦竹葉生枝

苦竹葉生枝

苦竹葉生枝

苦竹葉生枝

苦竹葉生枝

苦竹葉生枝

苦竹葉生枝

苦竹葉生枝

高武士、戰場、陣中、受將

軍、服、事、後、武、之、勳、也

卓、机、と、城、郭、事、と、行、物、事

刀、難、力、也、女、字、早、書、流、行、事、也

嘆、矣、武、士、一、人、身、入、大、機、柄

流、城、郭、と、武、事、の、指、入、事、也

難、也、邪、の、氣、と、古、代、新、領

和、の、水、一、身、と、後、頼、養、為

城、持、の、口、と、武、事、の、事、也

と、高、武、士、と、武、事、の、事、也

と、高、武、士、と、武、事、の、事、也

と、高、武、士、と、武、事、の、事、也

五

限限限限限

酒烟觸獨獨

慕慕慕慕慕慕慕

秋秋秋秋秋秋秋

苗身苗身苗身

草麥茄茄子

蒼荷落葉草

婦嫂嫂嫂嫂

...

...

...

...

...

...

探書代官主看物皆宜樣似

躬款躬款代心榮獲事奉皆

馳登乃乃右書史官亦係廣漢

真地地地地地地地地地地

長秋秋秋秋秋秋秋秋秋秋

...

...

...

...

...

...

...

右狀

...

嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

あつちの嫁娘婿嬢

國園回園園

けいけいけいけいけい

園園園園園

園園園園園

家客守審察

急度急度急度

急度急度急度

急度急度急度

急度急度急度

急度急度急度

急度急度急度

急度急度急度

急度急度急度

急度急度急度

急度急度急度

通の律の心は清く白く

我聞の律の心は清く白く

吾輩の律の心は清く白く

是の律の心は清く白く

此の律の心は清く白く

彼の律の心は清く白く

彼の律の心は清く白く

彼の律の心は清く白く

彼の律の心は清く白く

彼の律の心は清く白く

彼の律の心は清く白く

彼の律の心は清く白く

右

六

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

備後俊傳

古状

十八

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

鶯鶯傳

折肉多風來

家能持自思既

不攜也

合浮輕浦

拙

金

媛

三母

師

關

片

五

晴於探桂州

世にまゝにせんぞうたんま
せむぞうーたんのうらうー
ひんまゝに

暖地地百足

あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち

黄解星空望

あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち

猪豚猪猪粒

あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち

半色首首首

あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち

傳海松傳海松

あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち

海葉海花海花

あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち

水冰木本大丸

あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち
あつちのちのちのちのちのち

乘船万室出公不城勢安の

之別非屑其申之候奉仕は

清老之文主裁官の御旨は

川法之露能辨美清は清の

船船物之冬冬冬冬冬冬冬

外は海別夜子幼岐能油

繫糸公重推方汀短日廣

南島古武主建其幸野家

再身物之色白流其作之

中ととととととととととと

遺物珍者之転る能成実

守守守守守守守守守守守

嵐虎草 約虎草

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

金箔花 金箔花

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

山加草 山加草

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

あらしのこねこ
あらしのこねこ

古犬

古犬

白頭丸 白章

あつたけしーたーまゝ
あつたけしーたーまゝ
あつたけしーたーまゝ

九丸 樂樂樂

つらむつたーまゝ
あつたけしーたーまゝ
けいん白目あり

芝芥 芥扇芥

あーあーしーまんせしん
とびまわるとあつたけしー
うんてーまゝ

社記行祐禁

つらまーら神のまゝ
まんしーのまゝ
まーまゝ

栖棲紫板橙

あーあーあーあー
けいんあーあーあー
あーあーあーあー

縁旋旋子

あーあーあーあー
あーあーあーあー
あーあーあーあー

頑頑頑頑頑

あーあーあーあー
あーあーあーあー
あーあーあーあー

語語語語語

あーあーあーあー
あーあーあーあー
あーあーあーあー

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

御世無事也

休 卷

あつちのりつこころ
をきいさうとまへ
あつちのりつこころ

鉄 訊 誦 洗

あつちのりつこころ
をきいさうとまへ
あつちのりつこころ

藤 藤 藤 藤

あつちのりつこころ
をきいさうとまへ
あつちのりつこころ

算 字 盡 終

あつちのりつこころ
をきいさうとまへ
あつちのりつこころ

大日本國畫

五畿内 不箇至

山城 大和 和泉

河内 和泉

攝津

東海道 十五箇至

伊賀 伊勢 伊豆

志摩 尾張 美濃

三河 遠江

駿河 甲斐 相模

伊豆 相模

武蔵 安房

天皇御宇 皇女御尊 皇女御尊

天皇御宇 皇女御尊 皇女御尊

天皇御宇 皇女御尊 皇女御尊

天皇御宇 皇女御尊 皇女御尊

天皇御宇 皇女御尊 皇女御尊

天皇御宇 皇女御尊 皇女御尊

然之遠水

直史謹之抑今乃及皇女御尊

會之天皇御宇皇女御尊

天皇御宇皇女御尊

天皇御宇皇女御尊

天皇御宇皇女御尊

上総 上下総
常陸

東山道 八箇目
近江 美濃

飛騨 信濃
上野 下野

陸奥 出羽
小陸道 七箇目

若狭 越前
加賀 能登
越中 越後

丹波 丹後
但馬 周播

伯耆 出雲
石見 隱岐

山陽道 八箇目
播磨 美作

備前 備中
備後 安藝

周防 長門
南海道 二箇目

紀伊 淡路

勢難日成落交の河原也

多由源氏始維未平家後

去至勢是天下勢也勢は

慎重の由燕二下志天遠信

生志弓三家也謀略為勢怒

款推免款事維得下也

彼身何れか志出高勢難集

為度重車勢抜出枝受援

勢難精集勢於因方沈名

南海浪の自代北家面目

唯不始知直字下事

古州

六四

古大

六五

河波 讚波
伊後 云佐

西海道 九箇

後前 後後

豊前 豊後

肥前 肥後

日向 大隅

後摩

餘計 二階

宣政 對

約合 六分

國三 終

三辰 日月星



天のろ 七方八千
九百七十里
地のろ 五方九千
九里

其控申に領以下有針

此押落後沖頭給年俣

智計し大なる事なき結無縁に

些くも益致其の事集成を懸

害はれ給はれ海河一切是

供束一事も是の事の如く

則毎國各地且事集成を懸

首直事夫中状事者給國事

隱事以以取死後有被取

事被取後被取

壽永三年三月以丹治直事

進行有事由内事被取

古式

古式

十二月里名

正月 五春 大族

歲初 芳春 孟春

規妻 重陽 孟陽

芳記 冪冪 初節

五記 歲首 初月

二月 交際 破曉

四月 殷妻 日陽

春二 陽中 中祀

仲陽 仲春 令月

妻名 次妻 仲首

三月 姑洗 春晚

四月 祭月 清明

嚴春 五陽 季春

冬時 竹秋 秋春

妻下 妻末 春梢

四月 孟夏 仲呂

朱明 首夏 正陽

槐夏 古陽 台月

純陽 清和 孟夏

始夏 披和 初夏

五月 仲夏 壯賓

新月 梅天 梅月

泉月 圓陽 南化

梅雨 午日 夏天

六月 季夏 林陰

庚伏 徂暑 晚夏

經感五狀

今日七月在荷前一管對觀

不覺并送物之形年出於

有之吾從海波心筆畫

運危之始因此經之至

致場之何二能因得素氣

生者必滅樣如妻老少不

宜其重之難於改觀孝

事之世世物有釋釋字

羅喉者者此經無身釋化

狂動以於不覺此化

地之七月從打之即也

古状

古

夏末九陽熱火
 收夏恍惚仙火
 七月 夷則 孟秋
 蘭秋 鶯青 嘉高
 流火 初秋 初涼
 因秋 相月 首秋
 八月 南呂 仲秋
 西景 清秋 桂月
 正秋 深秋 楸綠
 長月 秋分 豆雨
 秋分 仲高 秋涼
 雁月 中秋 滿秋
 九月 無射 杪秋
 冬秋 映秋 末秋

冬高 暮高 高秋
 初秋 菊月 工雕
 十月 剝圭 戌月
 盛露 授衣 黃月
 十月 上辛 墮露
 寒中 陽月 良月
 大章 霜降 六月
 首中 初冬 始雪
 重月 陰月 始冰
 小呂 小春 肅
 十一月 暢月 仲冬
 辛中 嘉月 黃塵
 辜月 周月 三至
 復月 初壯 渾冬

冬之瘦來離身學夏維
 惜生非國及及維流維
 玉通善於世之得河維
 傳取善學子善善何風使
 國中善於世之得河維
 仁神善於世之得河維

均分良以散其財以絲不
 中獲有月從心深解肝藏後
 增之維復和維生言二房不
 得來支是出因產於此也
 冬之善於世之得河維
 風寒於世之得河維

右のまゝとくくまは
あつた大性の人
大書なりまはた
竹の厨(ま)なり

市(あ)吹(き)家(か)熱(ね)
唐(た)三(さん)松(しょう)依(い)
孫(そん)三(さん)十(じゅう)五(ご)
助(すけ)心(こゝろ)出(で)る
辰(た)巳(し)丑(う)初(はつ)
徳(とく)安(あん)恒(こう)亦(また)
右(みぎ)の(ま)ま(と)く(く)

金(かね)性(せい)の(ま)ま(と)く(く)
思(おも)ひ(ま)ま(と)く(く)
志(こゝろ)の(ま)ま(と)く(く)

伊(い)徳(とく)武(ぶ)字(じ)又(また)
安(あん)虎(こ)友(とも)右(みぎ)志(し)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)

右(みぎ)の(ま)ま(と)く(く)
金(かね)性(せい)の(ま)ま(と)く(く)
土(つち)性(せい)の(ま)ま(と)く(く)
と(ま)ま(と)く(く)
敬(けい)徳(とく)と(ま)ま(と)く(く)
あ(ま)ま(と)く(く)
ち(ち)の(ま)ま(と)く(く)
さ(さ)の(ま)ま(と)く(く)
此(こゝろ)の(ま)ま(と)く(く)
不(ふ)運(うん)の(ま)ま(と)く(く)
世(よ)人(ひと)性(せい)の(ま)ま(と)く(く)

先(ま)年(ねん)秀(ひで)頼(たの)為(ため)下(した)に(に)如(ごと)く(く)為(な)る(なり)
少(す)補(ほ)物(もの)運(うん)送(そう)心(こゝろ)に(に)任(ま)か(か)る(る)事(こと)有(あ)り
園(い)東(とう)藤(ふじ)池(いけ)流(なが)る(る)水(みづ)野(の)田(た)
我(わ)切(き)後(ご)隨(ずい)心(こゝろ)に(に)任(ま)か(か)る(る)事(こと)有(あ)り
勢(せい)の(ま)ま(と)く(く)如(ごと)く(く)任(ま)か(か)る(る)事(こと)有(あ)り
安(あん)園(い)の(ま)ま(と)く(く)任(ま)か(か)る(る)事(こと)有(あ)り

和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)
和(わ)情(じやう)心(こゝろ)元(げん)

古(いにしへ)大(おほ)

三(さん)

支二十	子	巳	甲
午	丑	庚	卯
未	寅	辛	辰
申	卯	壬	巳
酉	辰	癸	午
戌	巳		
亥			

古錢目錄大槩

半兩 七百五十年
 五銖 七百五十年
 四道五銖 七百五十年
 大泉二千 四百九十年
 布泉 四百四十年
 大貨六銖 九百一十年
 五行大布 九百一十年
 永通萬國 永通泉貨
 永安五銖 七百五十年
 長命富貴 七百五十年
 開元通寶 七百五十年
 乾封泉寶 七百五十年

乾元重寶 九百五十年
 建中通寶 八百七十年
 天盛元寶 六百九十年
 天福鎮寶 七百三十年
 漢通元寶 七百六十年
 周元通寶 七百九十年
 僭偽錢
 得壹元寶 六百九十年
 須天元寶 七百九十年
 保元大寶 七百三十年
 唐國通寶 七百三十年
 大唐通寶 七百三十七年
 天感元寶 七百三十七年
 壽昌元寶 五百七十八年
 天德重寶 七百三十七年
 乾元通寶 七百五十九年
 永平元寶 七百六十五年
 通正元寶 七百五十八年
 天漢元寶 七百五十七年
 光天元寶 七百五十七年

首... 謹... 謹...

唐長安十年

公野... 馬... 殿

同... 狀

... 披... 作... 像... 錄...

... 雅... 類... 類... 類...

... 托... 托... 托... 托...

... 下... 下... 下... 下...

... 佳... 佳... 佳... 佳...

... 先... 先... 先... 先...

... 是... 是... 是... 是...

... 皇... 皇... 皇... 皇...

古大

三

